

平成27年度 指定管理者評価シート

所 管 課	こども未来部 こども家庭室 子育て・家庭支援課
評価対象期間	平成27年4月1日～平成28年3月31日

平成27年度 指定管理者評価シート<1> 指定概要 (指定管理者によりご記入をお願いします。)

施設概要	名 称	川西市久代児童センター
	所在地	兵庫県川西市久代3丁目16番30号
	設置目的	児童の健全な育成を図るため、川西市久代児童センターを設置する
利 用 料 金 制	<input checked="" type="radio"/> 非利用料金制 <input type="radio"/> 一部利用料金制 <input type="radio"/> 完全利用料金制	
指定管理者	名 称	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会
	所在地	兵庫県川西市火打1丁目1番7号
指定管理業務の内容	<p>指定管理の業務内容を明確に記入してください。</p> <p>(1) 健全な遊びを通じて児童の集団的及び個別指導に関すること。 (2) 児童の体力増進の指導に関すること。 (3) 子ども会、母親クラブ等の地域組織活動の育成及び助長に関すること。 (4) 施設の使用許可、その取り消しその他施設の使用に関すること。 (5) 施設及び付属設備の維持管理に関すること。 (6) 開館時間及び休館日の変更に関すること。 (7) そのほか、市長が必要と認める業務に関すること。</p>	
指定期間	平成24年4月1日～平成29年3月31日	

A	優	良
B	良	好
C	課	題
D	要	改
	善	善

施設名	川西市久代児童センター	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	こども未来部 子育て・家庭支援課	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】	指定管理者一次評価 【市所管記入欄】	指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】
区分	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】		指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】			
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)				
1 施設の設置目的の達成に関する取組み【有効性】	A		A		1 施設の設置目的の達成に関する取組み【有効性】			
(1-1) 施設の設置目的である事業運営の達成	A		A		(1-1) 施設の設置目的である事業運営の達成			
法令や利用のルール、事業計画に則って施設の事業運営が適切に行われたか。また、施設を最大限に有効活用するとともに、施設の設置目的に沿った成果が得られたか。	A	市条例の設置目的である児童の健全な育成を図るため、地域の幼稚園、小学校、中学校には年度初めに所長と担当者が訪問し、連携を密にする確認をしました。その結果、施設の事業運営を地域の行事“どんとまつり”、川西市主催の“子育てフェスタ”など幅広く最大限有効活用し、成果を得ることができました。	A	設置目的に沿って、児童の年齢に応じた教室、イベント、交流会をはじめ、プレイルームや図書室による居場所の提供を行っている。地域住民を中心に施設は活用されており、アンケート結果によると本施設が「子育ての不安解消、同世代の親との交流促進、子どもとの良好な関係保持」に寄与していると考えられる。	意見なし			
利用に係る登録方法や手続について、利用者に対し十分に周知を行い、適正な方法で行われたか。	A	初回利用時に口頭で川西市在住かを確認します。その後、登録手続きとして住所、氏名、生年月日、連絡先電話番号を記入していただきます。他市の人には丁寧に説明し、規則通りお断りしました。当日の利用時も毎回氏名と電話番号を記入していただいています。万が一、ケガや病気など緊急時は、電話番号や登録時の住所にて知らせます。	A	乳幼児又は小学生以上を対象にした利用案内チラシをそれぞれ作成しており、対象者に応じた事業一覧表とセットで配付するなど、利用者の目線にたった周知の工夫が見受けられる。	意見なし			
施設の設置目的に応じた効果的な営業や広報活動を行い、その結果、効果があったか。	A	市の広報誌、施設のホームページ、毎月のお知らせのチラシ、館内掲示しました。“待ち”の姿勢でなく、職員が直接、児童やお母さん方に声掛けをしました。その結果、児童は友達を通じて呼びかけ、お母さん同志の友人を通じて行事の参加に繋げることができました。	B	毎月のお知らせチラシでは行事予定をカレンダー形式で視覚的に分かりやすく表記し、市広報誌においても行事案内を毎月行うなど、積極的な広報活動を行っている。今後は、スマートフォンの普及などに対応した取組も求められている。	意見なし			
< 課題 >				子育て世代を対象にした効果的な広報活動に取り組む必要がある。	意見なし			
< 改善内容 >				新たな広報手段を取り入れる。	意見なし			
(1-2) 施設の利用状況及び事業への参加状況	A		A		(1-2) 施設の利用状況及び事業への参加状況			
施設の目的に則って、有効に活用(利用)されていたか。	A	中学生・高校生が参加する“赤ちゃん交流会”や“お菓子作り”などの事業は、学校側の協力のもと、安定した参加者を得られました。また、夏休みの職場体験も定着しています。川西市の“子育てフェスティバル”や地域の“どんとまつり”などに参加し、幅広く有効な事業展開を図りました。	A	体育館、プレイルーム、図書室といった施設を備えていることが強みであり、利用者はニーズに応じて施設を利用できていると考えられる。	意見なし			
施設の利用者や実施された事業への参加者数の増加、サービス利用者の利用回数の促進など創意工夫が図られたか。	B	人事異動による1名減と入院による療養休暇により1名減、夏季休暇消化等の理由により事業の縮小を余儀なくされ、全体の参加人数の減に繋がりました。その他、インフルエンザの長期化、警報発令の増加等も人数減の一因となりました。	B	利用総数は減少しているものの、限られた人員のなかで遊び場の開放をはじめ、交流会、教室、講座などが多数開催されており、利用者は多様なプログラムから選択できることから、利用促進がある程度は図られている。	意見なし			
< 課題 >		児童センター専従の3名の職員の夏季休暇の取得とも関連しますが、夏休み期間中は、児童の利用が増加するため職員増が必要でです。		夏季休暇中は、児童の利用者数や滞在時間が増加し、窓口業務量も増加するため、職員の監視が行き届かなくなる恐れがある。	意見なし			
< 改善内容 >		夏休み限定の臨時職員の補充が必要と考えられます。		特に安全確保が必要な事業については、外部委託も含めて監視体制を整えておく。	意見なし			
(1-3) 利用者の満足度	A		A		(1-3) 利用者の満足度			
利用者の満足度を把握するため、定期的にアンケート調査などを実施したか。	A	調査の結果、母親からは「今後の子育てに対する不安が軽減された」、「同世代の母親と交流ができ、多くの情報を得ることが出来た」、「利用して気分転換ができた。その結果、子供と良好な関係となった」、「一緒に利用して、家と違う環境で、子供の知らない顔を見ることができた」、児童からは「先生が皆優しいので、楽しい」、「おもちゃがいっぱいあるのが、うれしい」など多くの方に満足の評価を得ました。	A	7月に子ども(小学生以上)及び保護者を対象にした利用者アンケートを実施し、参加したプログラムの良かった点や改善点などを把握するよう努めている。	意見なし			
利用者アンケート調査の結果から、施設利用者ニーズや満足度を把握し、事業の改善等が得られたか。	A	行事の内容を増やし、遊び場を確保しました。また、支援の必要な幼児に対しては、集団で行わず個別対応しました。また、制作などの物作りの際、一律でなく個々の対象者(その子が作りやすいように)により、順番を変えるなど柔軟に対応しました。	A	アンケート結果を踏まえ、行事に参加する児童の特性も見極めながら、特に年間プログラムにおける実施内容について改善を図りながら柔軟に対応している。	意見なし			
利用者からの苦情に対して十分な対応がなされたか。	A	今年度は、苦情はありませんでした。	A	苦情がなかったことは、職員が来館者に対し丁寧に対応した結果だと考えられる。	意見なし			
アンケート調査以外に、さまざまな手法で利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。	A	利用時は、必ず事務所に名前を書きます。その際、職員が利用者に話しかけ、人間関係を構築しています。その中で、利用者からの本音の意見を引き出すようにしています。(例、「申し込みは兄弟一括がいいのでは、など。)	A	ベテランの児童厚生員をはじめ、豊富な職務経験を持つ職員が長年にわたり児童と保護者に対して丁寧に接していることが、人間関係の構築、ひいては利用者の立場にたった運営に生かされている。	特になし			
サービスの質を向上させるため具体的な取組みを行ったか。また、取組みの結果、どのような効果が得られたか。	A	実施した事業内容が参加者にとって満足のいくものだったかを、常に意識し、終了した事業内容の指導案を回覧するなどしています。その際、反省欄は必ず記入し、次のサービス向上に生かすよう全員で共有しています。	A	事業の実施結果と反省点を毎回共通フォーマットに記載し、所長を含め全職員が目を通し、改善に取り組んでいる。	意見なし			
< 課題 >				子育て環境も時代とともに変わっていくので、今後も利用者のニーズを把握し、ニーズに応じたサービスを提供する必要がある。	意見なし			
< 改善内容 >				引き続き、アンケートや業務の振り返りを通して、利用者のニーズや満足度の把握に努め、必要に応じて事業を見直していく。	意見なし			

A	優 良
B	良 好
C	課 題 含
D	要 改 善

施設名	川西市久代児童センター	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	こども未来部 子育て・家庭支援課	区分		指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】		指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】	
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)		評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)								
2 効率性の向上に関する取組み 【効率性】	A			A			2 効率性の向上に関する取組み 【効率性】						
(2-1) 経費の節減	A			A			(2-1) 経費の節減						
施設の管理運営に関し、経費を効率的に節減するための十分な取組みが行われ、その効果が得られたか。	A	年間を通じて高額な光熱水費については、職員の意識と努力で経費節減が可能であると考え、職員各自が意識して利用者がいない時間、部屋の照明や空調のスイッチを切るよう、周知徹底しています。また、利用者に対しても趣旨を説明したうえで、協力依頼をしました。		A	人件費を除く事業経費の約3割を光熱水費が占めており、この部分の経費節減に取り組んだことで一定の効果が得られた。		意見なし						
管理運営業務の遂行にあたり、業者発注や業務委託により行われる場合、適切な水準で行われ、経費が最小限となるような競争が行われたか。	A	高額な修理や物品購入時は、金額により必ず相見積りを取っています。また、低額な各種備品購入では、近隣のホームセンターコーナンなどを利用し、購入しています。このように、少しでも経費節減を意識して実施しています。		A	修繕業務などは見積もり合わせを行っており、予算の範囲内での運営に努めている。		意見なし						
< 課 題 >		すでに建物は30年以上が経過。老朽化と劣化が進行し、今後は修繕費の増加が見込まれます。			12条点検の結果では、緊急を要する修繕は報告されていないが、空調機器などの経年劣化は避けられない。		意見なし						
< 改善内容 >		修繕費の経費節減として、早期発見早期修理が必要です。修理が遅れば、その分高額となり経費も増加する可能性があります。			市全体での公共施設を総合的に管理していく中で、本施設においても計画的な改修に取り組んでいく。		意見なし						
(2-2) 収入の増加							(2-2) 収入の増加						
収入を増加させるための具体的な方法の検討や取り組みを行ったか。													
収入の増加など取り組みの効果が得られたか。													
< 課 題 >													
< 改善内容 >													
(2-3) 収支のバランスなど							(2-3) 収支のバランスなど						
収支のバランスは、適切であったか。													
費用対効果を考えながら、経費の効果的で効率的な執行が行われたか。													
収支の内容に不適切な点はなかったか。													
< 課 題 >													
< 改善内容 >													

A	優	良
B	良	好
C	課	題
D	含	要
	改	善

施設名	川西市久代児童センター	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	こども未来部 子育て・家庭支援課	指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】	
区分	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】		指定管理者一次評価 【市所管記入欄】				
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)			
3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み【適正性】	A		A		3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み【適正性】		
(3-1) 管理運営の実施状況	A		A		(3-1) 管理運営の実施状況		
法令や市等の指導に基づき、施設の管理運営に、適切な人員配置をされていたか。	A	人員は配置されていますが、利用が多数の場合や事故防止の安全面を考えた時は、老人福祉センターの職員との連携が必要な状況です。	A	法令の基準に則り、6人体制(うち3人は久代老人福祉センターと兼務)で、老人福祉センターとの一体的で効率的な運営が行われている。	意見なし		
法令や市等の指導に基づき、業務に必要な研修・教育が適切に行われたか。	A	研修会は"児童虐待・DV防止"、"家庭教育・子育て支援のためのコミュニケーション"、"児童の健全育成について"のテーマに参加しました。復命書をもとに、話し合い、知識や情報の共有に努めました。それらを今後に役立てるようにしています。	A	児童厚生員など現場のスタッフは研修に参加し、日ごろの事業運営に生かすよう努めている。	意見なし		
経費の節減やサービス提供の質など、管理運営が適切に行われていたか。	A	幼児・児童の利用する施設として、経費節減では、夏と冬の空調の温度管理には細心の注意を払いました。特に夏場においては、熱中症予防の観点から、水分補給のため水筒持参を館内掲示と口頭により注意喚起しました。	A	地域の幼稚園との連携事業、乳幼児から小・中・高生まで各世代を対象にした事業を実施しており、また、市民を広く受け入れる体制をとっており、バランスのとれたサービスが提供できている。	意見なし		
施設の良好な管理運営を進めるため、新たな取り組みについて、指定管理者自ら提案・検討を進め、実施されたか。	A	職員からの提案をセンターとして検討し、隣接している久代デイサービスセンターと共催し、2階遊戯室でデュオのコンサート、チャリタの演技を老人・児童も含め実施しました。世代間交流を図ることができました。	A	他機関との連携した取組であり、幅広く市民が参加しやすいイベントを行ったことが評価できる。	意見なし		
< 課題 >		児童センター3名では、各種事業を円滑に運営するには、困難(病欠・年休などにより)な場合があります。		少人数体制なので、事業の実施にあたっては職員一人ひとりに頼る部分が多い。	意見なし		
< 改善内容 >		業務を調整して、児童センターの支援を老人福祉センターの職員が行う必要があると考えます。		できる限り、情報共有しながら、継続的に事業が実施できるよう取り組んでいく。	意見なし		
(3-2) 法令順守、個人情報の保護、安全対策、危機管理体制、平等利用など	A		A		(3-2) 法令順守、個人情報の保護、安全対策、危機管理体制、平等利用など		
法令に沿った適正な事業の実施を行うだけでなく、チェック体制などの整備や機能をさせているか。	A	初回利用時、法令に従い川西市に住所を有しているかを口頭で確認しています。閉館時間に関しては、放送を通じて周知徹底しています。工事など、臨時休館時は、事前通知しました。	A	年間を通じて安定的に開館し、児童館に求められる事業を継続的に行っている。	意見なし		
施設利用者の個人情報保護などの取扱いが適切に行われているか。	A	個人情報に関しては、施設の施錠できる金庫やロッカーに保管し、外部への持ち出しを一切禁止する事を職員に徹底しています。利用者には、写真撮影の際、事前に了解を得たり、拒否される方の写真は"おたより"など広報誌への掲載をしません。	A	個人情報の管理に関しては高い意識をもって取り組んでいる。	意見なし		
日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されているか。	A	乳幼児の場合、お母さんに目を離さないよう、お願いしています。児童は、乱暴な行動やケンカ(職員が仲裁に入る時もある)など起こさないよう見守りや声掛けをしています。地域の防犯パトロール(ボランティア)さんが、定期的に見回りに来てくれています。また、小学校の先生は抜き打ちに来所し、情報の共有や連携をしています。	A	施設がワンフロアということもあり、比較的目的が行き届きやすい構造である。職員も常に常駐しており、安全対策上の問題は特に見受けられない。	意見なし		
防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であるか。	A	終業後や夜間、休日の防犯は総合警備のセコムと契約しています。火災の避難、誘導、通報、消火訓練は、年2回実施しています。消防署職員立会のもと、必要な指導を適時受けました。年1回、県警のホットライン通報テストを実施しています。	A	消防署の協力を得て、全職員及び施設利用者が参加する訓練を実施している。危機管理に対する備えは整っていると考えられる。	意見なし		
事故発生時や非常災害時の対応についてマニュアルを作成するなど適切な対応ができるように整備しているか。	A	事故発生時(ケガの場合、体調不良の場合)、非常災害時対応のマニュアルどおりの対応をしています。また、ヒヤリハットのノートも作成し全員で共有しています。設備に関しては、毎月1回職員が点検しています。	A	ヒヤリハットノートは、日ごろの運営を通して気づいたことが細かく記されており、気が付いた時点で適宜更新されている。	意見なし		
利用者を限定しない施設では、利用者が平等に利用できるよう配慮したか。	A	児童のおもちゃの貸し出し(ゲームなど約87種類)、卓球台(3台)、ビリヤード台(1台)の使用は、時間設定しています。時間が過ぎると、次の児童と交代し平等に利用できるよう配慮しています。	A	時間を決めて貸し出すなど、一定のルールを決めて、みんなが利用できるよう配慮がなされている。	意見なし		
利用者が限定される施設では、利用者の選定を公平でかつ適切に実施したか。							
< 課題 >		特になし		特になし	意見なし		
< 改善内容 >		特になし		特になし	意見なし		

A	優 良
B	良 好
C	課 題 含
D	要 改 善

施設名	川西市久代児童センター	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	こども未来部 子育て・家庭支援課	
区分	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】		指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】	
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)		
総合評価	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】		指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】	
評価ランク	A		A			
・評価できる内容	乳幼児の事業として、別紙の幼児クラブが14事業、母親クラブ2事業、図書室とプレイルームの解放、小学生の事業として別紙の15事業、中高生は4事業、その他、遊戯室や運動指導室の解放、おもちゃの貸し出しなど、多種多様な事業を展開し、大きな事故、トラブルなく実施することができました。 例1、父親から母子に対する虐待で鳥取県から親のいる川西市に避難してきたケースについて、子育て支援課に連絡、連携し、親の実家は危険と判断し、他市に繋げました。 例2、子供の発達に不安のある母親からの相談を受け、同じ法人内のさくら園の総合相談窓口を紹介する、など児童センターの目的にあった効果を上げることができました。		各世代に対応した行事の企画運営を行っている。年間を通して行事を多数実施している。ベテラン職員が児童を継続的にしっかり見守っている。		赤ちゃん交流会など多くの事業を実施している。	
・平成27年度に改善した内容	今まで、参加人数増を図るのを最優先にし、老人福祉センターの職員も含めた事業内容を目いっぱい計画していました。 しかし、人事異動や急な体調不良など、予測してなかった事態が発生し、職員数が減となりました。、結果的に事業を縮小し改善を図りました。		もともと多くの事業を実施しており、事業縮小による影響はさほど大きくはなかったと考えられる。			
・平成27年度に改善したことによる効果	事業を縮小したことにより、日程に余裕ができた。日程に余裕ができたことにより、講師や利用者の都合(運動会、参観日など)を配慮し、別の日に行事などの変更の枠が広がった。		アンケートの結果は良好で、利用者の選択肢は広がったと考えられる。			
・問題があり次年度以降改善が必要な点	"パパと遊ぼう"は平日で仕事があるためか、参加人数が少ない状況でした。		広報の仕方については、工夫できる余地がある。		駐車場が少なく遠方から赤ちゃんをベビーカーで連れて行くとなかなか時間がかかる。 子どもが利用できるウォータークーラーの設置が望ましい。	
・改善方法とその時期	次年度の"パパと遊ぼう"は試験的に、平日でなく土曜日に実施することを積極的に広報し、参加人数の増につなげたいと考えます。		市の様々な事業との連携を生かしたPRを適宜行っていく。			

【記入上の留意点】

- (1)指定管理者は、自己評価記入欄に、市所管課は、一次評価記入欄に評価を記入いただきますようお願いいたします。
(2)水色の表観覧にはドロップダウンで評価(A、B、C、D)が選択できます。評価欄の濃淡ピンク色の部分は、水色の部分に評価を入力すると自動的に総合評価が表示されます。